

自己改革取組宣言

これまでも、これからも、地域とともに
JA倉敷かさやは総合事業を展開します

- 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組みます。
- このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。
- 協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業者(正組合員)が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業(JAバンク)、共済事業(JA共済)などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方でも、JA各事業をご利用して頂いている方を、JAの応援団として准組合員として加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能です。

いわば、農業者と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

総合事業体として「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けたJAの主な取り組みは、次のとおりです。

1. 地域農業の活性化・生産コスト低減対策【利用者還元積立金:目標額3千万円】

当JAの主力農産物に対する生産拡大・コスト低減対策として、年間1千万円を限度に、肥料・農薬の予約購入等の供給高に応じて還元を行っています。

2. 生産者のニーズに応える事業展開【担い手等との意見交換会の実施:年3回以上】

生産者の意見・要望を事業に反映させるため、常勤理事・担当職員等と生産部会の代表者や担い手、大型農家・農業法人等との意見交換会を毎年実施しています。

3. 営農指導事業の取り組み【営農改善費予算額:25百万円】

当JAの営農指導事業の主な取り組みは、次のとおりです。

- TAC(担い手相談員)を中心とした担い手農家や集落営農組織等に対する出向く営農指導体制の確立・強化
- 安全・安心で高品質な生産のための栽培指導、生産者手取りの確保のための提案
- GIを取得した連島ごぼうをはじめとする地域の特産品の生産振興や、青空市を中心とした地域に密着した地産地消の推進